

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称:山口市家庭教育支援チーム) URL: https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/kodomo/50839.html
②活動拠点	山口市
③活動範囲	山口市内
④組織体制	35 人 家庭教育アドバイザー 32人 行政職員 3人 ※民生委員・児童委員、主任児童委員、子育てサポーター、保育心理士、地域子育て支援員、幼児教室指導員、保育士、放課後児童クラブ支援員、学校運営協議会委員、地域協育ネット協議会委員、地域学校協働活動推進員、家庭教育支援補助員、社会教育主事
⑤活動開始年度	2018年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 山口市教育委員会社会教育課 (TEL)083-934-2865 (E-mail) s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒保護者等への学びの場の提供 ☒保護者等への地域の居場所づくり ☒アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒乳幼児 ☒小学生(低学年) ☒小学生(中学年) ☒小学生(高学年) ☒中学生 ☐高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ○保護者カフェの開催 活動拠点がある学校や地域交流センターで、保護者同士が想いを語り合うカフェを設ける。語り合いの中から、保護者の子育てについての悩みや不安に対応するための個別相談へつないだり、活動のヒントを得たりしている。家庭教育アドバイザーが語り合いの中に参加し、進行役（ファシリテーター）を務める。支援やサポートが必要な子育て家庭を知り、寄り添う体制を作る。必要に応じて、ワークショップを用意し、和やかなムードの中で気軽にしゃべりができるように気配りをする。 保護者から講座の依頼があればコーディネートする。 ○不登校について悩みを抱える保護者を対象とした保護者カフェの開催 地域を越えて参加でき、悩みを共有し合える場となるように配慮する。 ○学校と連携し、不登校対応等に取り組む 別室登校等の児童生徒の見守り等を行うとともに、保護者の不安や悩みの軽減へつなげる。 ○「子そだてマナビィ」(子育て講座・親子参加型講座)の企画・運営 子育て世代の保護者や親子を対象にした家庭教育講座「子そだてマナビィ」を企画・運営している。子どもとの関わり方やインターネットとの付き合い方、自然体験教室等を実施し、参加者のニーズ調査も行っている。 ○就学時健康診断・仮入学での子育て講座の企画・運営 市内の小学校で開催される就学時健康診断の際に保護者同士のつながりづくりを目的として開催される家庭教育講座の企画・運営をしている。 ○個別相談 山口市家庭教育訪問支援ダイヤルにて受け付けるとともに、保護者カフェ、家庭教育講座実施時に個別相談を希望された家庭に対し実施している。 ○広報紙の作成・配布 子育てのヒントとなる情報、講座の案内や家庭教育支援チームを紹介する広報紙を年3回作成し、市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・地域交流センター等へ配布している。 ○家庭教育アドバイザー連絡会議および研修会 年3回の連絡会議と年2回の研修会を通して、各地域で活動している家庭教育アドバイザーが集まり、情報共有したり、対応方針について検討したりする。また、個別相談の対応やファシリテーターとしてのスキル向上のため、スクールソーシャルワーカー等の専門家を講師として招いている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	家庭教育講座や保護者カフェ等の機会だけでなく、ホームページや電子掲示板、チラシ等においても山口市家庭教育支援について周知を図っている。また、継続して「家庭教育講座」「保護者カフェ」「個別相談」を行うことで、保護者にも、学校の教職員にも家庭教育支援チームのメンバーと活動が認知されるようになっている。

⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐文部科学省委託事業(事業名:) ☐厚生労働省事業(事業名:) ☐地方公共団体単独事業として実施 ☐特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐その他の支援により活動を実施 ()
--	--